# R8. 10. 20　更新

# 愛知県立附属中学校共通 Q＆A（連携型中学校、学びの多様化学校、夜間中学校除く）

※記載がない事項につきましては、各校に問い合わせてください。

## 1 教育内容

Q１－１：一般的な中学校と比べて、授業時間数が増える教科がありますか。

A１－１：増える教科もあります。増える教科、増える時間数は、各校によって異なります。
詳細は各校のウェブページをご覧ください。

Q１－２：外国語について、どのような力を備えておくとよいですか。

A１－２：小学校における「外国語活動・外国語」の学習を大切にしていきます。

Q１－３：中高一貫校は、一般的な中学校に比べて授業の進度が早くなるようですが、愛知県の県立附属中学校も、同様ですか。

A１－３：大学進学を念頭に授業の進度を早めたり、先取り学習をしたりすることはありません。探究的な学習をすすめる中で、高度な内容を身に付けることはあります。

Q１－４：教科書はどのようなものを使用しますか。

A１－４：文部科学省の検定教科書を使用します。
県立附属中学校は、学校独自で教科書を選定するため、市町村立中学校と使用する教科書が異なる教科もあります。
教科書の選定結果

Q１－５：探究学習を重視した場合、その教科の基本的な知識の習得についてどのように考えていますか。

A１－５：探究的な学習をすすめる中で、基礎的な知識や技能を身に付けていくことが必要となります。探究的な学習と基礎的な学習を分けず、すべての教科でお互いに補完しながら進めていきます。
探究的な学習では、生徒がより主体的に学ぶことになります。生徒が主体的に学ぶことで、知識・技能の習得や思考力等の育成につながると考えます。

## 2 学校生活

Ｑ２－１：１クラスの人数は何人ですか。

Ａ２－１：中学校１年生について、１クラスは 35 人です。なお、明和中学校の音楽コースは１クラス 20 人です。

Ｑ２－２：市町村立中学校との大きな違いは何ですか。

Ａ２－２：併設する高校と同じ敷地内で生活することにより、学習面や生活面等で、高校生から様々な刺激を受けられることが大きな違いです。また、中高６年間を見通し、生徒の成長を見守り、支えていくことができます。

Ｑ２－３：県立附属中学校に入学する子どものメリットは何ですか。

Ａ２－３：中高一貫教育で学びたいという強い意志をもって入学した生徒同士が、互いに切磋琢磨しながら時間的余裕を活用することにより、学力や個性、創造性等を伸ばすことができます。また、幅広い年齢層の生徒とのかかわりを通して、豊かな人間性を育成することができます。

Ｑ２－４：いじめや不登校に対する支援体制についてどのように考えていますか。

Ａ２－４：普段から職員間の情報共有を大切にし、生徒の変化を見逃さないようにします。さらに、定期的な個人面談の場を設けたり、必要に応じてスクールカウンセラーとの相談の場を設けたりします。

Ｑ２－５：一人一台タブレットは配付されますか。また、ＡＩ搭載ドリルのアプリなどは導入されますか。

Ａ２－５：端末については、一人一台を配付します。タブレットを活用した学習内容については、各校に問い合わせてください。

Ｑ２－６：県立附属中学校の校舎に空調設備はありますか。

Ａ２－６：空調設備は県立附属中学校の校舎（普通教室、特別教室）及び中学校体育館に設置されます。

Ｑ２－７：県立附属中学校が附属する高校でも給食の提供がありますか。

Ａ２－７：昼食時間の給食の提供は、中学校のみとなります。

## 3 転学等

Ｑ３－１：入学後になじめなかった場合の対応は、どうなっているでしょうか。

Ａ３－１：定期的な面談や、スクールカウンセラーとの連携など、生徒の心のケアに細心の注意を払っていきます。

Ｑ３－２：県立附属中学校から、外部の中学校への転学はできますか。

Ａ３－２：やむを得ない場合は可能ですが、県立附属中学校は、中高６年間の継続した学びができることが特徴です。そのため、原則、６年間の学びをしていくことを求めます。出願時にご家庭でよく話し合っていただいた上で出願してください。

Q３－３：県立附属中学校から、転居等やむを得ない理由により転学し、その後再び県立附属中学校に転入することはできますか。

Ａ３－３：在籍していた県立附属中学校に戻ることは可能です。

## 4 進学等

Q４－１：県立附属中学校からの内進生と、高校入試を経て入学してくる高入生は、混合クラスになりますか。

Ａ４－１：愛知総合工科高校附属中学校、日進高校附属中学校、豊田西高校附属中学校、西尾高校附属中学校、時習館高校附属中学校について、高校のクラス編成は現在検討中ですが、高校卒業時までに目指す生徒像は、内進生も高入生も同じです。内進生と高入生が互いに切磋琢磨しながら、学力や個性、創造性等を伸ばしていきます。

明和高校附属中学校、津島高校附属中学校、半田高校附属中学校、刈谷高校附属中学校については、混合クラスとなります。

Q４－２：中高一貫で６年間学んだあとの、大学受験は大丈夫でしょうか。

Ａ４－２：大学受験は、高校卒業後の選択肢の一つです。中高一貫の６年間で、広い視野で将来を考え、社会で活躍できるチェンジ・メーカーの育成を目指します。

Q４－３：中高一貫校ですが、高校進学時に他の高校を受験することは可能ですか。

Ａ４－３：県立附属中学校では、６年間の計画的・継続的な教育を行うことを想定しています。なお、内部進学を辞退した上で、他の高校を受験することは可能です。

Q４－４：県立附属中学校では、全員が高校に内進できますか。

Ａ４－４：全員が、各附属中学校が附属する高校に内進できます。

## 5 教員配置

Q５－１：県立附属中学校には、どのような教員が配置されていますか。

Ａ５－１：現在小中学校及び高等学校で勤務している教員のうち、中学校免許をもった者が配置されます。県立附属中学校の校長は、その中学校が附属する高校の校長が兼務します。また、教頭を置かず、副校長を配置しています。なお、養護教諭も、高校とは別に県立附属中学校に配置しています。

Q５－２：県立附属中学校で教える教員が、探究学習を重視した授業について研修する機会がありますか。

Ａ５－２：好事例校の資料を活用した研修や、外部講師による研修等を行っています。

# 6 入学者選抜

Ｑ６－１：適性検査における選択式の問題で思考力等をどのように測りますか。

Ａ６－１：適性検査は、複数の教科を組み合わせた内容で、知識や技能を活用した思考力・判断力・表現力等を測ります。

Ｑ６－２：障害等のある児童に対する配慮はありますか。

Ａ６－２：受検上の配慮を申請することができます。そのことにより合否に影響が出ることはありません。

Ｑ６－３：国立中学校や私立中学校との併願は可能ですか。

Ａ６－３：国立、私立と併願することは可能ですが、入学確約書提出後に入学を辞退することは、他の志願者の著しい不利益となるため、原則として認めることはできません。

Ｑ６－４：合否判定は、どのように行われますか。何か特別な活動をしておいた方が有利になりますか。

Ａ６－４：最終合格者は、適性検査の成績と面接の結果等を資料として、総合的に判断して決定します。

Ｑ６－５：他県から愛知県に転居する予定ですが出願できますか。

Ａ６－５：入学式の前日までに、愛知県内に保護者とともに確実に居住する場合に出願できます。

Ｑ６－６：海外の現地校に通っており、通知表がないので写しを提出することができませんが、どうしたらよいでしょうか。

Ａ６－６：令和８年度入試より、通知表の写しの提出は廃止しました。

Ｑ６－７：車椅子の児童の入学は可能ですか。

Ａ６－７：可能です。ただし、受検の際には、受検上の配慮を申請してください。

Ｑ６－８：志願理由書はどんな様式ですか。

Ａ６－８：令和９年度入試の様式は、こちらをご覧ください。

Ｑ６－９：合格者の男女比はありますか。

Ａ６－９：男女比率の設定はありません。

Ｑ６－１０：適性検査の各教科の問題数や配点、受検者の得点は、公表されますか。

Ａ６－１０：適性検査実施後に問題や配点を公表しています。受検者は受検校において各自の得点の開示を求めることはできます。

Ｑ６－１１：適性検査の問題内容はどのようなものですか。また、適性検査ⅠとⅡで内容が違いますか。

Ａ６－１１：複数の教科を組み合わせた内容で、英語の内容は出題しません。全問選択式で、マークシートでの回答となります。

Ｑ６－１２：入学者選抜当日に感染症等にかかった場合、別室受検や追検査はありますか。

Ａ６－１２：１次選抜については、別室受検、追検査ともに準備しています。２次選抜については、追検査はありません。詳細は入学者選抜に関するウェブページに掲載予定です。

Ｑ６－１３：授業中だけ眼鏡をかけている場合、願書の写真でも眼鏡が必要ですか。

Ａ６－１３：写真の提出はありません。

Ｑ６－１４：現在、海外に住んでいます。子どものみ、日本に籍を移し、祖父母の家から通うということは可能でしょうか。

Ａ６－１４：保護者は海外や県外に住んでいて、志願者本人は県内で祖父母と同居しているような場合は、原則として出願できません。判断に迷う場合は、「愛知県教育委員会 高等学校教育課 中高一貫教育グループ」まで、事前にお尋ねください。

## 7 合格後の手続きに関すること

Ｑ７－１：入学確約書は、どうやって入手しますか。

Ａ７－１：愛知県教育委員会の入学者選抜に関するウェブページに掲載しています。合格者は各自でダウンロードし、期日までに合格校に提出してください。

Ｑ７－２：合格後の辞退はできますか。

Ａ７－２：入学確約書を提出されない場合は、合格辞退となります。その際、合格辞退届を提出していただきます。入学確約書提出後に入学を辞退することは、他の志願者の著しい不利益となるため、原則として認めることはできません。

Ｑ７－３：繰り上げ合格について教えてください。

Ａ７－３：各校において合格辞退があった場合は、１月中のみ繰り上げ合格を行います。

この他、お困りのことがありましたら「愛知県教育委員会　高等学校教育課　中高一貫教育グループ」までお問い合わせください。

〒460-8534 名古屋市中区三の丸 3-1-2（西庁舎 9 階）

Tel:052-954-7432